

信州大学医学部附属病院 形成外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2025 年 10 月 20 日

「涙道閉塞症に対する涙嚢もしくは鼻涙管と鼻腔との端側吻合術の適応範囲の検討」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6641
研究課題名	涙道閉塞症に対する涙嚢もしくは鼻涙管と鼻腔との端側吻合術の適応範囲の検討
所属(診療科等)	形成外科
研究責任者(職名)	柳澤大輔(助教)
研究実施期間	医学部長による許可日～2027 年 3 月 31 日
研究の意義、目的	本研究は、涙道閉塞症に対する新しい術式である涙嚢鼻腔端側吻合術の適応範囲を明らかにすることを目的としています。従来法に比べて再閉塞が少ないとされる本術式の適応を検討することで、より多くの患者様に有効な治療を提供できる可能性があります。
対象となる方	2018 年 1 月 1 日から 2025 年 6 月 30 日の間に当院で涙道閉塞症に対して涙嚢鼻腔端側吻合術を施行された方
利用する診療記録	診断名、年齢、性別、検査所見(涙道造影 CT)、術中所見、術後経過に関する記録
研究方法	過去の診療記録を基に、CT での計測値と術後経過の関係性を解析し、DCR-A の適応可能な範囲を検討します。本研究は既存の記録を用いた後ろ向き観察研究であり、新たな診察や検査、検体採取の必要はありません。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 柳澤大輔(信州大学医学部附属病院形成外科) 電話: 0263-37-2833

診療記録、画像検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。